11

成

28

年

度

決算状

括

債が5・2%減の9億2071万円となりました。国庫支出金が3・3%減の14億3076万円、市オアリーナ)の本体建設が終了したことに伴い、

の2876万円となりました。

なお、

繰入金は、

ふるさと納税を含めた寄附金総額は、

88

・0%増

28年度の一般会計 市では年2回、

市の財政状況を公表しています。

今回は、

平成

特別会計の決算状況をお知らせします。

市有財産の状況

うち財政調整基金 13億1,687万円

指標でみる財政事情

建

土

깏

基

物

地

木

金

土 地

有価証券

出資金

債 権

現金・預金等

うちその他の基金

(平成29年3月31日現在)

150,174m²

306,759m3

2,951m²

経常収支比率、財政力指数

0.45

0.64

0.45

0.64

0.63

22,532,371m²

22億7,888万円

9億6,201万円

3億1,400万円

3億8,079万円

98.6%

93.5%

93.0%

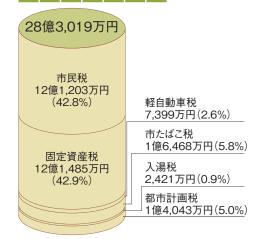
90.2%

89.2%

2億207万円

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差し引き			
育 英 資 金	4,121万円	4,118万円	3万円			
下 水 道 事 業	11億2,898万円	11億2,581万円	317万円			
農業集落排水事業	1億5,686万円	1億5,686万円	0万円			
簡易水道事業	2億8,970万円	2億8,970万円	0万円			
国 民 健 康 保 険	30億7,011万円	29億1,768万円	1億5,243万円			
後期高齢者医療	3億815万円	3億800万円	15万円			
介護保険(保険事業勘定)	28億4,006万円	27億8,126万円	5,880万円			
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,210万円	1,210万円	0万円			
市有林造成事業	6,758万円	6,416万円	342万円			

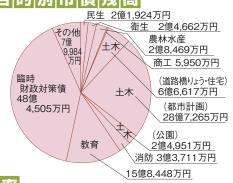
|市||税||の||収||入||状||況



市債残高の状況

_	10 0 100 10 0	2	
一般会計		121億6,486万円	
特別会員	下水道事業	58億6,603万円	
	簡易水道事業	2億5,673万円	
	農業集落排水事業	14億5,270万円	
計	市有林造成事業	4,114万円	
É	計	197億8,146万円	

一般会計 合計121億6,486万円 目的別市債残高



財政健全化判断比率

	* 実質赤字比率	* 連結実質赤字比率	* 実質公債費比率	* 将来負担比率
勝山市(速報値)			8.7	80.4
早期健全化基準	14.10	19.10	25.0	350.0
県内9市平均(速報値)			8.9	63.4

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財 政健全化法) に基づき、上記指標を算定しました。この指標は、地方公共団体の 「早期健全化」と「財政再生」の2段階で財政悪化状況をチェックするとともに、 特別会計や一部事務組合なども併せた連結決算により、地方公共団体全体の財 政状況を明らかにしようとするものです。

勝山市はいずれの項目においても、早期健全化基準を大きく下回り、健全である といえます。 (詳しくは、市のホームページをご覧ください)

毎月決まって支払わなけ水道代、ローン返済など

食費や家賃、光熱費、

か月の家計に例える

が生じた場合、大ると、一年間 えると、サラリ 合 場合、赤字額が引において赤字一年間の収入とーマン家庭に例

28 勝山市(速報値) 度 県内9市平均速報値)

山市

県内9市平均

勝

27

年度

一般の家庭に例えるたもの。 標集句 テ in le など) の割合です。. (家賃や食費など) に対る場合、標準的な生活費と、子どもが別居してい る場合、 標準的な生活費と標準 (普通交付税) じると親か る標準的な収 (給 料

【将来負担比率】

りべき

た

準的な収入)に占める割が自由に使える財源の標財政規模(地方公共団体財なが自由に使える財源の標計などの実質赤字が標準計などの実質赤字が標準計などの実質赤字比率】一般会 交付税)が必要とと親からの仕送りへの差額で不足が生

別居している子どもを別居している子どもをのローンの残高(親が肩のローンの残高(親が肩のローンの残高(親が肩のローンの残高(親が肩のローンの残高(親が肩のローンの残る)、 したものです。 年の給料総額に対-を差し引いた 債務が標準財政規模に占 計などが将来負担

す。 かをあら かをあらわしたものでに対してどの程度占めるその年の家庭の給料総額 たも

のめ

いくでは、 いに収入される財源のうらわしたもの。毎年経常らかしたもの。毎年経常をある。 は、「経常収支比率」財政構

標準財政規模に占める 計を含む) 【連結実質赤字比率】 でなく、その也り手一会計(一般会計などだ <u>り</u> のの の実質赤字がの他の特別会 げ全 割

費の割合。 債費など、

必ず支払う経

扶助費

【実質公債費比率】

の程度占めるかをあらわが、給料総額に対してどればならない経費の合計

規模に占める割合。 などの償還金が標準財政 会計などが負担する市債

ものです。
を占めるかをあらわしたといる場合、それのです。 ローンを親が肩代わりしのローンを親が肩代わりしいのローンのほか子どもの持つ家庭に例えると、親別居している子どもを の親の程

団体の財政力をあらわし【財政力指数】地方公共

たものです

5 — 広報かつやま10月号 No.755 広報かつやま10月号 No.755 --- 4

歳入総額 124億7.917万円 県支出金 11億2,190万円 (9.0%) 28億3,019万円 14億3,076万円 (11.5%) (22.7%)

市債9億2,071万円(7.4%)。 地方交付税 4%) その他 13億9,135万円 (11.1%) 38億5,903万円 (30.9%)越 金 4億8,094万円 分担金及び負担金 1億2,902万円 地方消費税交付金 4億1,340万円 地 方 譲 与 税 1億4,402万円 使用料及び手数料 8億1,699万円 1億1,612万円 地方特例交付金 604万円 自動車取得税交付金 3,241万円 利子割交付金 379万円 1億1,276万円 配当割交付金 1,073万円 株式等譲渡所得割交付金 642万円 農林水産業費 財産収入 交通安全対策特別交付金 1.646万円 6億9.632万円 324万円 附 2,876万円 金 した。 市税は、

た9851万円が実質的な黒字となっています! り越さなければならない財源5505万円を引い した。なお、歳入歳出の差引きのうち翌年度へ繰したことにより、決算総額が大きく減額となりま に新体育館 減(前年度比=以下同じ) となり、歳入で14・9%の減、歳出で13 · 信 7 平成28年度勝山市一般会計決算は、 (ジオア 歳出が ナ となりました。 本体建設工事が終了 23億25 歳入が1 6 前年度 -% の 円

の不足について財政調整基金からの繰り入れにといった主要な一般財源が軒並み減収となり、

したためです

4万円となりました。これは、

市税や地方交付税

そ

交付される地方交付税も、2・7%税納税額が少なくなったためです。 これは、 5 %減の28億30

3万円となりま |交付税も、2・7%減の3億59くなったためです。また、国から、大口法人の減収により法人市民 9万円となり

その他の特定財源では、

商工費は、

・5%増の7億9426万円とな

国庫支出金

衛生費

(6.6%)

労働費

(0.9%)

(5.7%)

積立金(22%)

5億569万円(4.0%)

繰入金 4億1,954万円(3.4%)

民生費

3億3,703万

(31.1%)

議会費 1億6,387万円(1.3%)

総務費

15億6,162万円

(12.7%)

歳出総額

災害復旧費

123億2.561万円

消防費 3億9,939万円(3.2%)

11億85万円

(8.9%)

歳出

人件費(18.1%)

物件費(12.0%

扶助費(18.8%)

補助費等(10.7%

普通建設事業費(13.3%)

貸付金(29%)

繰出金(10.5%)

商工費 7億9,426万円(6.5%)

2,198万円(0.2%)

教育費

14億1,138万円

(11.5%)

土木費

14億916万円

(11.4%)

ら1億5892万円減少 通債(建設事業債)

の残高についても、

前年度か

し73億1

災害復旧事業費(0.%)

前年度に新体育館 (E)

)本体建設工事が終了-ました。これは、前年度 土木費は、 は、前年度に新体育館(ジオアリ5・2%減の1/億916チF2 したためです 6万円とな

補強・大規模改造工事が終了 2・9%減の 教育費は、 村岡小学校をはじめ4 14 億 1 38万円となりました したことなどにより 小学校の耐震

テルの改修などを実施したためです。 りました。これは、 民生費は、 旧料亭花月楼や勝山ニュ 者

増の38億3703万円となりました。 ビス給付費の増額などにより、1・は、臨時福祉給付金給付事業や障が

万円減少-額13億1 から、前年度末から1億5459万円減少し、の繰り入れに頼らざるを得ない決算となったこ平成28年度末の財政調整基金残高は、基金か 一般会計の市債残高は、 また、このうち臨時財政対策債を除いた普次し、総額121億6487万円となりま 687万円となり 前年度末から9088 りました。 基金から 総